

かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.31

2018 冬号

年頭のご挨拶

認知症疾患医療センター

「もの忘れ外来」のご案内

神経内科

「多発性硬化症外来」
開設しました

小児科

「小児科アレルギー外来」
開設しました

薬剤部ってどんなところ？

ご自由に
お持ちください
TAKE FREE

年頭のご挨拶



病院長
近藤 丘

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。本院は東北医科薬科大学病院として2年目を迎えて、昨年は医師数も30名以上増えて150名を超えました。診療科としては、増加するがん患者さんの治療を支援する体制を強化するためがん治療支援（緩和）科を新設しました。また泌尿器科の入院診療を再開し、最先端の手術用ロボットを用いた前立腺や腎臓の手術を始めています。

一方、医師を含めた診療スタッフの増加、新たな診療科の開設、そして受診される患者さんの数の増加に対応すべく、いくつかの外来の新設や増設・改修、MRIの増設、透析センターの新設などを行いました。また、狭小化する病院棟の診療スペースをいくらかでも拡張できるように新たにプレハブ棟を設置して喫茶店や理容室などに移動をしていただきました。それにより空いたスペースには増加する採血業務に対応するために採血室の移設拡充や待合スペースの新設を行います。

そのほかに、平成30（2018）年には外来化学療法センターの移設拡充、耳鼻咽喉科外来の拡充などのほか、4月から開設される脳神経外科と形成外科、そして産科の外来を新設する予定です。また、平成31（2019）年から開始する産科分娩に備えて分娩室の整備も予定しています。脳神経外科と形成外科の開設を受けて平成30（2018）年4月には診療科数が32診療科となり全身のほぼ全てをカバーできる陣容となるので、名実ともに大学病院としての体制が整うこととなります。

このように診療内容は充実したものになりますが、病院の建物は従前通りでそれに対応できていませんので、昨年4月に建設が始まった新病院棟が完成する1年後までは、改修などによりできるだけ高いパフォーマンスを発揮できるように努めるつもりです。病院組織が拡大しましても新設医学部の設置理念を忘れることなく、先進的医療の実践とともに地域医療を支える病院として地域の皆様に信頼いただける病院となるように努めてまいりますので、本年もこれまでとかわらぬご厚情とご支援を引き続きよろしく願いいたします。

認知症疾患医療センター

「もの忘れ外来」のご案内

当院では、平成28（2016）年8月に仙台市認知症疾患医療センター『もの忘れ外来』を開設いたしました。超高齢社会となった日本において、認知症の患者数が急増しており、医療の範囲を超えて、社会の問題に発展しつつあります。ここ仙台市宮城野区を含め、宮城県内においても認知症ならびにその疑い患者さんの診断、ケアについて悩みを抱えている方は少なくないと思います。

『もの忘れ外来』では、認知症患者さんの診断、支援、ケアの充実に向けて、医師をはじめ専門のスタッフが力を合わせて皆様のお手伝いをしてまいります。ご本人またはご家族が「認知症かな?」と思われましたら、お一人で悩まずに、当院の『もの忘れ外来』にご相談ください。

もの忘れ外来の受診に際しては予約制となっておりますので、かかりつけの先生からの紹介状をお持ちになり、右記にお問い合わせください。

認知症疾患医療センター
センター長 古川 勝敏



当院まで
ご相談ください



【お問い合わせ】

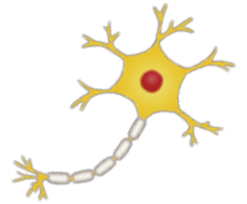
- 平日 9:00~17:00（祝日、年末年始を除く）
- TEL 070-5093-3615（もの忘れ外来 直通）
- 窓口 もの忘れ外来

ケータイ・スマホの方は
こちらからもアクセス!



神経内科

「多発性硬化症外来」 開設しました



神経内科 科長 中島 一郎

東北医科薬科大学病院神経内科では全国屈指の診療経験を基に、最先端の診断法と治療法を取り入れております。この度、全国の患者さんの医療相談に応えるべく、完全予約制の専門外来（新患外来）を設置しました。診断や治療法でお悩みの患者さんは是非ご利用ください。受診時に病態を把握できるように、主治医からの紹介状、検査結果、MRI画像をご持参ください。

多発性硬化症や視神経脊髄炎などの炎症性脱髄疾患は厚生省が定める指定難病に含まれる病気ですが、近年治療法の開発が進み、多くの患者さんが生活に不自由なく暮らすことが可能になってきました。また、これまで多発性硬化症と診断されていた患者さんの中に、抗MOG抗体が関連した別の病態が紛れていることも明らかになっています。

【お問い合わせ】

- 平日 9:00~16:00(祝日、年末年始を除く)
- TEL 022-259-1221(代表)
- 窓口 医療連携センター

ケータイ・スマホの方は
こちらからもアクセス!

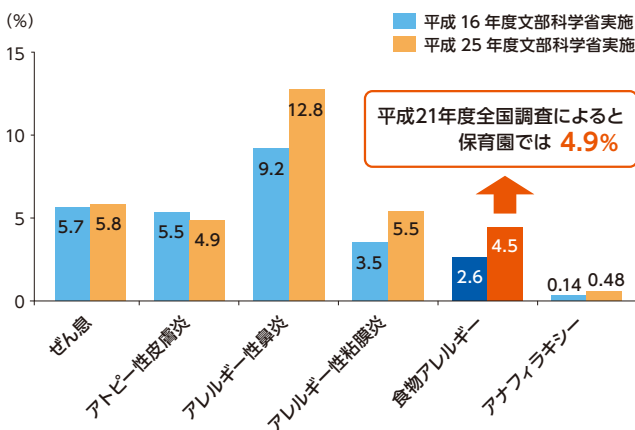


小児科

「小児科アレルギー外来」 開設しました

こどものアレルギー疾患は近年増えており、今では小学生の約5%が食物アレルギーと診断されています。アレルギー疾患は命を直接脅かすことは少ないですが、こどもにとって生活で制限を強いられることが心理的、社会的に弊害をもたらします。アトピー性皮膚炎でプールに入れない、ぜんそくで運動ができない、食物アレルギーで皆と同じ給食が食べられないなど、こどもにとって非常に辛いことです。

学校におけるアレルギー疾患の変化(全国)



出典：日本学校保健会「平成25年度学校生活における健康管理に関する調査事業報告」

そのようなこどもが必要最小限の制限のなか、すくすく、楽しく成長できるようにアレルギー専門医が対応いたします。こどものアレルギー疾患（食物アレルギー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、じんましんなど…）の心配がありましたら気軽に小児科外来にお問い合わせください。

また、平成30(2018)年4月以降は入院での食物経口負荷試験、アトピーの入院なども対応させていただきます。アレルギー外来の予約、受診をお待ちしております。



小児科 科長
小川 英伸

【お問い合わせ】

- 平日 12:00~16:00(祝日、年末年始を除く)
- TEL 022-259-1221(代表)
- 窓口 小児科外来

ケータイ・スマホの方は
こちらからもアクセス!



Pharmaceutical department

薬剤部ってどんなところ？

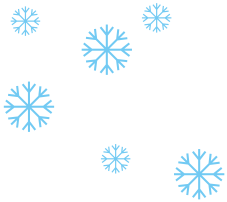
当院では外来患者さんへは院外処方せんを発行しています。そのため、薬剤部では一部を除いて外来患者さんの処方せんの調剤を行うことはありません。薬剤師は入院患者さんの処方せんの調剤や薬の管理の他、病院内において、薬に関して治療効果と安全性を確保するために様々な業務を行っています。

入院予定の患者さんへは「お薬確認コーナー」において薬剤師が面談して普段飲んでいる薬を確認し、相談を受けることもあります。その際は「お薬手帳」が大切な情報源となります。医療機関を受診する際は、どのような目的でも是非「お薬手帳」をお持ちください。



薬剤部
山田 尚之





INFORMATION



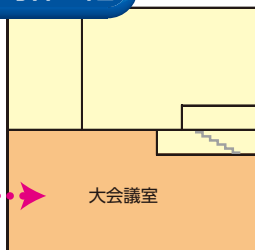
当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！

平成29(2017)年12月1日より、「多目的棟」を開所しました！



平成30(2018)年4月からの健康講話は、当院の大会議室で開催する予定です。

多目的棟 2階



入院患者さんの散髪を行います。

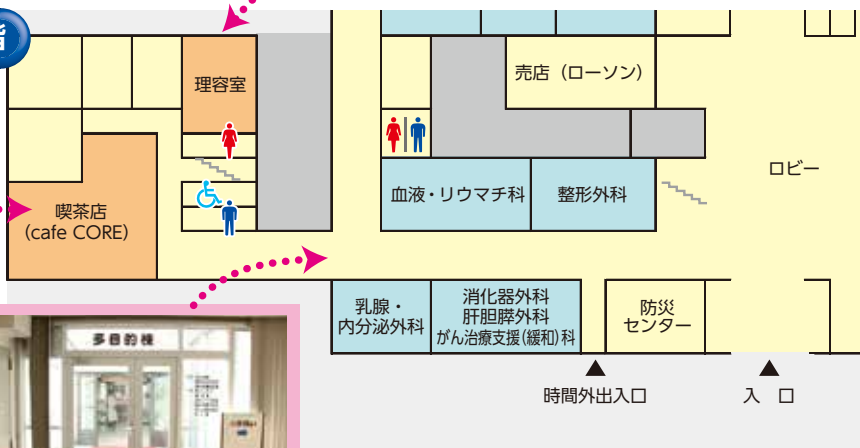
営業時間 平日のみ 9:00~16:30
(受付16:00まで)

多目的棟 1階



焼き立てのパンやコーヒーなどを提供しています。

営業時間 平日 8:00~18:00
土日・祝日 9:00~17:00

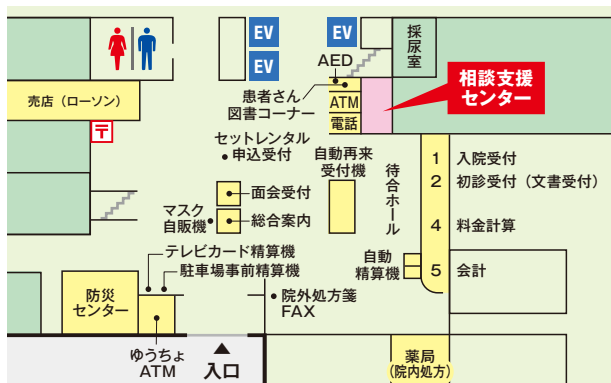


「多目的棟」へ行くには、本館1階の連絡通路から入ります。



相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上的なことなど、病気に関わるご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのかわからないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。



◆日時 月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
9:00~16:00
◆TEL 022-259-1221(代表)

ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス!



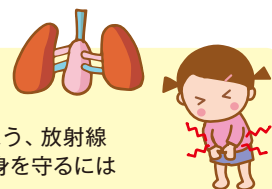
健康講話のお知らせ

地域の皆様が明るく楽しく健康な生活がおくれますよう、「健康講話」を開催いたします。どなた様もお気軽にご参加ください。

- 開催日時：下記の日程の水曜日 13:30~14:30
- 開催場所：高砂市民センター
- 参加料：無料

【予定演題】

- 1月10日 ①おさらいしましょう、放射線
②すい臓がんから身を守るには
- 1月24日 ①いまや国民病?うつ病について
②気分が落ち込んだ時のこころの持ち方
- 2月14日 ①放置できないこどもの腹痛(実は便秘)
・放置できないこどもの腹痛(実は腸捻転)
※午前開催(10:00~11:00)になります。
- 2月28日 ①ぐっすり眠れないのはどうしてか?
②眠るための工夫
- 3月14日 ①腎臓病に対するセルフケア



ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス!

